

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
新庄市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	個々の教員が改善意識を持ち業務負担軽減に取り組むなど、時間外削減に努めているが、時間外在校等時間が平均で月30時間3割を超えている状況である。	推進員による地域ボランティアの確保や新たな推進員の確保に勤め、学校との連携を深めながら教員の業務負担軽減につながる活動を実施する。ほとんどの学校で見守り隊の活動を行っているが、今年度も継続して実施する。中学校においては、部活動の地域移行を進めることで教員の部活動の負担を減らし、時間外勤務の削減を図る。	・市全体で地域学校協働活動推進員を4名以上配置し、学校への定期的な訪問など、地域学校協働活動推進員の延べ訪問日数を年間200日以上とする。 ・推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、学校や地域のニーズを把握しながら、教員の業務負担軽減に繋がるようコーディネートを実施する。	学校・家庭・地域の連携強化を図ることにより、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	時間外在校等時間の平均時間数	35	時間	33		
	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	「学校を核とした地域づくり」「地域に開かれた教育課程の実現」に向け、多様な方が学校や児童・生徒に関わる仕組みができつつあり、関わってくださる方々の主体性が生まれている。そんな中、「具体的な活動は何をしたらいいのか?」「他の学区ではどんなことをしているのか?」といった疑問を持つ方も多いため、今後、より各学区で特色ある社会に開かれた教育課程を推進していくためには、より具体的な活動イメージを持ってもらう必要がある。	学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働に関わっているボランティア、教職員を対象とした研修会・情報交換会を開催し、「地域学校協働活動」についての具体的なイメージの共通化を図り、各校の特色ある地域学校協働活動の推進に繋げる。	昨年度、はじめて情報交換会を実施し、目的としていた、地域学校協働活動の具体的なイメージの共通化は図られた。しかし、参加者が市内全ての学校運営協議会委員ではなかったため、同様の手法を継続して実施し、機運を醸成していく。	学校運営協議会委員や地域学校協働活動に関わる方々が「学校を核とした地域づくり」について主体性を持つようになる。	研修会実施時にアンケートを実施し、「地域学校協働活動に関わってほしい」と答えた人の割合	100	%	100		

記載不要

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。